

## ＜富山＞馬場島発電所取入地点での塗料缶等の 河川流出について（最終報）

平成27年10月16日  
北陸電力株式会社

10月2日に発生した「馬場島発電所取入<sup>※1</sup>地点での塗料缶等の河川流出」に関して、搜索結果および河川水の水質分析結果等についてお知らせいたします。

関係者の皆さま、地域の皆さまには、大変ご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

### 1. 搜索結果、回収状況

塗料缶等が流出した10月2日から9日にかけて、立山川取入から早月川河口までの区間の搜索や、葦輪頭首工（取水堰）<sup>※2</sup>における断水調査など、徹底した搜索を行った結果、流出した25缶のうち、16缶を回収いたしました。

#### ＜流出した塗料缶等の回収状況＞

種 類	内容量		回収した缶			未回収の缶	
	個数(缶)	内容量(L)	個数(缶)	残量(L)	流出量(L)	個数(缶)	流出量(L)
エポキシ樹脂系塗料(主剤) 12.0 L/缶 <sup>※3</sup>	11	132	4 [4]	9.1	38.9	7	84
エポキシ樹脂系塗料(硬化剤) 2.6 L/缶 <sup>※3</sup>	11	28.6	9 [2]	23	0.4	2	5.2
エポキシ系シンナー 16.0 L/缶	2	28	2 [2]	4.2	23.8	0	—
ラッカー系シンナー 16.0 L/缶	1	6.1	1	6.1	0	0	—
計	25	194.7	16 [8] <sup>※4</sup>	42.4	63.1	9	89.2

[ ] は、回収した缶のうち破損していた個数

### 2. 河川水の水質分析結果

塗料等の流出による河川への影響を確認するため、水質汚濁に係る環境基準項目および要監視項目<sup>※5</sup>のうち、シンナーに含まれるトルエンおよびキシレンについて分析した結果、採取した河川水の中からは検出されませんでした。

## <河川水の分析結果>

単位:mg/L

分析項目	基準値等		分析結果
	環境基準値	要監視項目指針値	
トルエン	なし	0.6以下	不検出
キシレン	なし	0.4以下	不検出

### 3. 環境への影響について

河川水の水質分析においてトルエンおよびキシレンが不検出であったことや、搜索により魚類などの水生生物に異常は確認できなかったことを踏まえ、流出した塗料等は河川の大量の水に薄められたものと考えられることから、当社としては、環境への影響についてはないものと考えております。

### 4. 再発防止対策

今後、河川内で塗装工事等を行う場合は、当日使用する塗料等しか持ち込まない、残った塗料等については、河川内に残置しないことをルールとして明確化するとともに、社内および工事関係者に徹底することで、再発防止に努めてまいります。

なお、未回収の缶につきましては、今後の増水で川岸に打ち上げられる可能性も否定できないことから、大雨等により河川が増水した後など、河川の状況変化に応じて、搜索を実施することとしております。

関係者の皆さま、地域の皆さまには、大変ご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

## 添付資料：塗料缶等の回収結果

#### ※1 立山川取入

馬場島発電所から約5km上流にある発電用水を取水する施設

#### ※2 菟輪頭首工

早月川の河口から約10km上流にある取水堰 ここで取水された水は発電用水及び灌漑用水に利用されている

#### ※3 塗料缶等の容積について

成分の比重等を精緻に計算した結果、10月2日および5日の発表内容を訂正

#### ※4 回収した缶のうち破損していた個数

回収した缶のうち、破損ではなく一部使用済みの缶が1缶、外観から破損としていたが重量を再度測定した結果、漏出がなかった缶が1缶確認できたことから、10月5日の発表内容を訂正

#### ※5 水質汚濁に係る環境基準項目および要監視項目

環境基準項目とは、人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準値が定められている項目  
要監視項目とは、有害な物質ではあるものの直ちに環境基準項目とはせず、引き続き知見の集積に努めるべきとされている項目

以上

# 塗料缶等の回収結果

発見時の状況(代表例)



回収缶の破損状況(代表例)



- ①～⑤ 10月2日回収
- ⑥～⑫ 10月3日回収
- ⑬～⑮ 10月4日回収
- ⑯ 10月9日回収

- :エポキシ樹脂系塗料(主剤) 11缶の内4缶発見
- :エポキシ樹脂系塗料(硬化剤) 11缶の内9缶発見
- :エポキシ系シンナー 2缶の内2缶発見
- :ラッカー系シンナー 1缶の内1缶発見